



特232

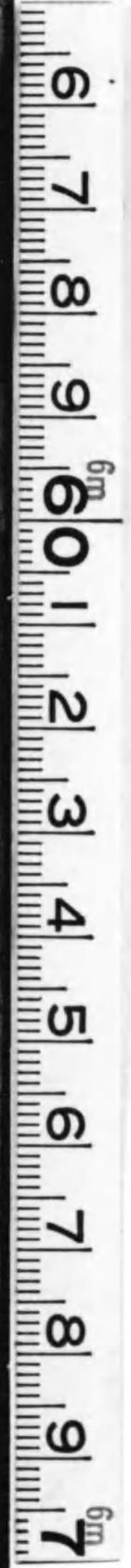
945

書叢活生代現

輯七第

最近のウソ・ト・P

著雀雨田秋



始



部版出會育教國帝



特 232
945



アシロ・ト・エウソの近最

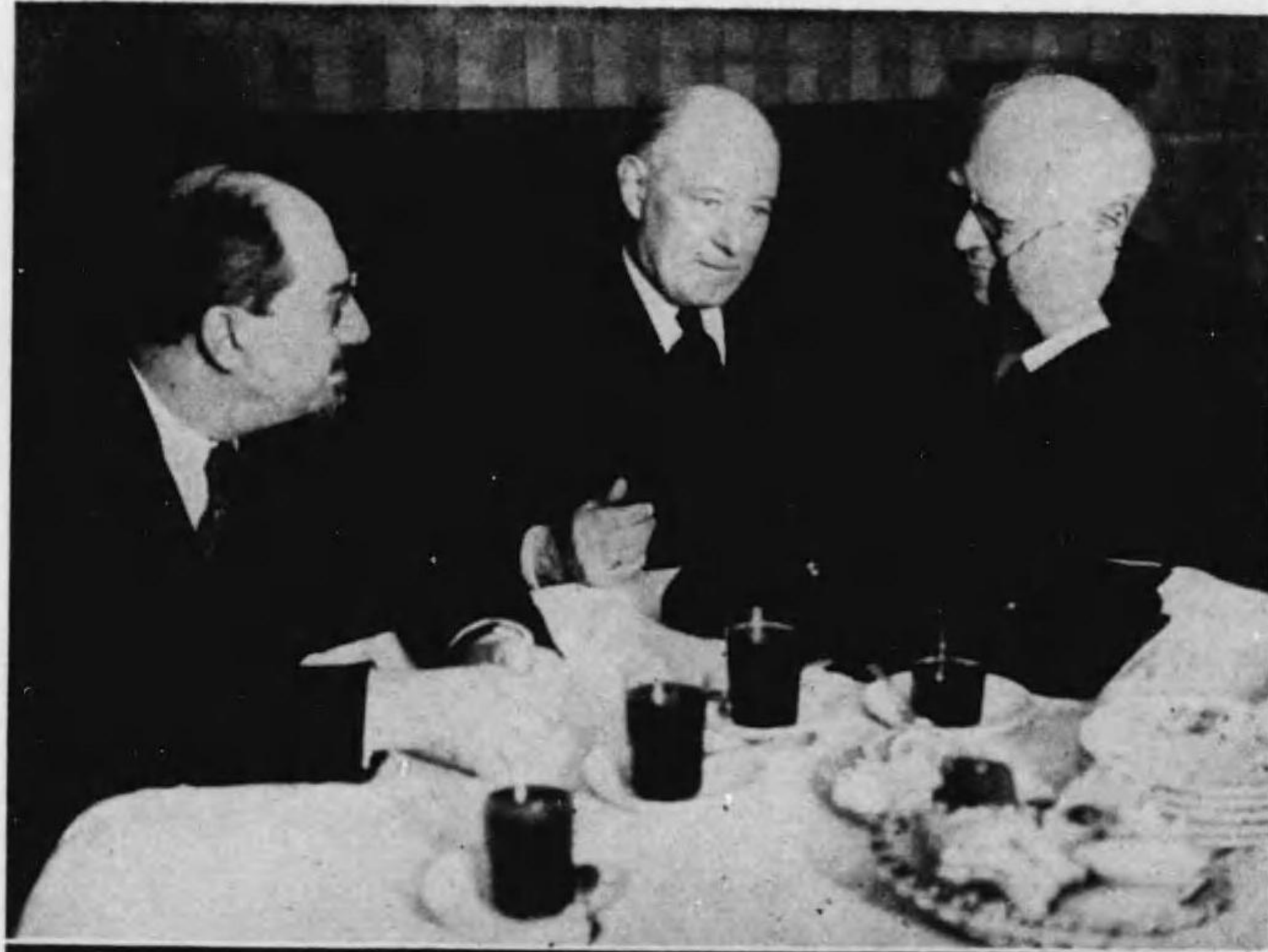
著 雀 雨 田 秋



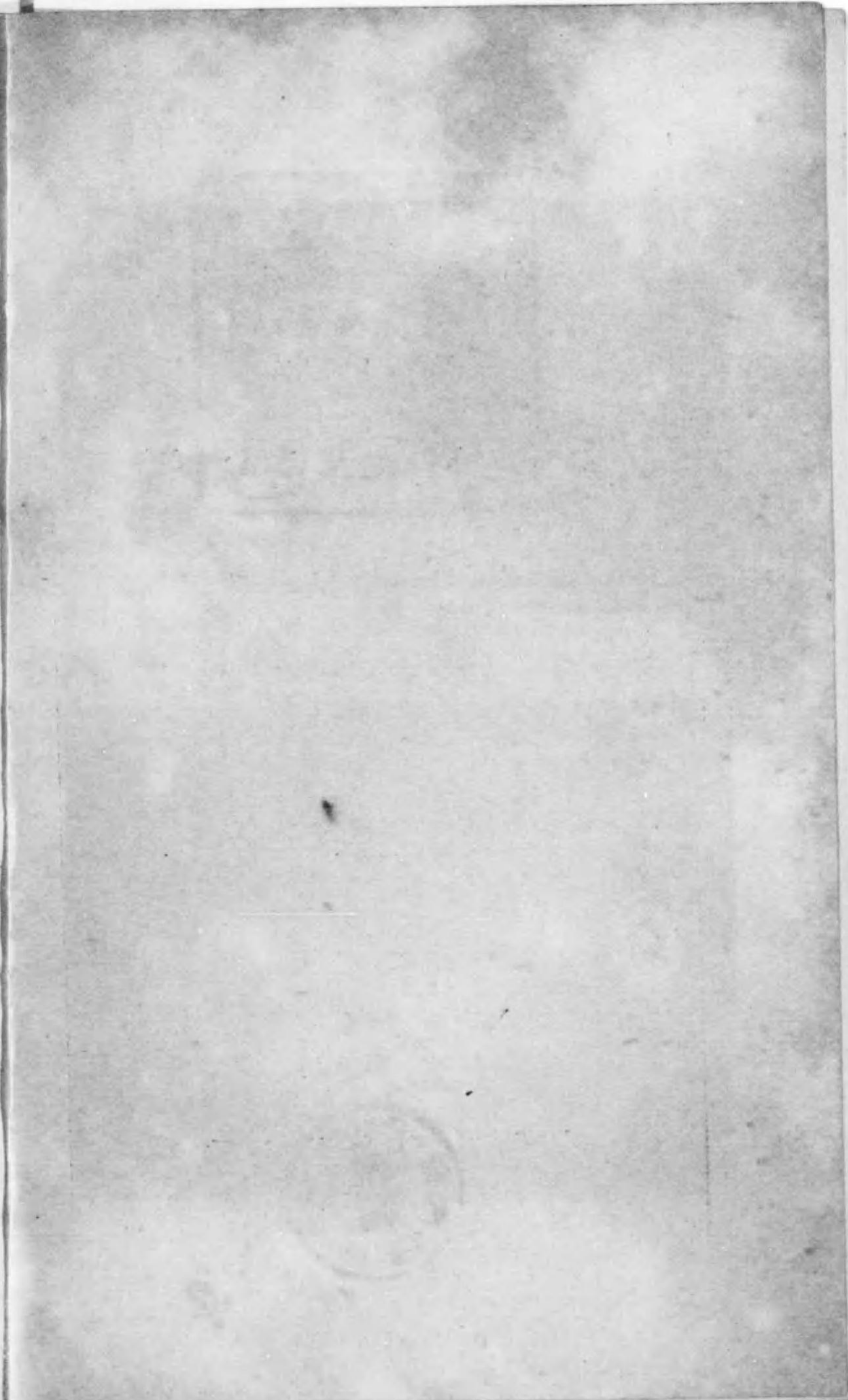
部 版 出 會 育 教 國 帝



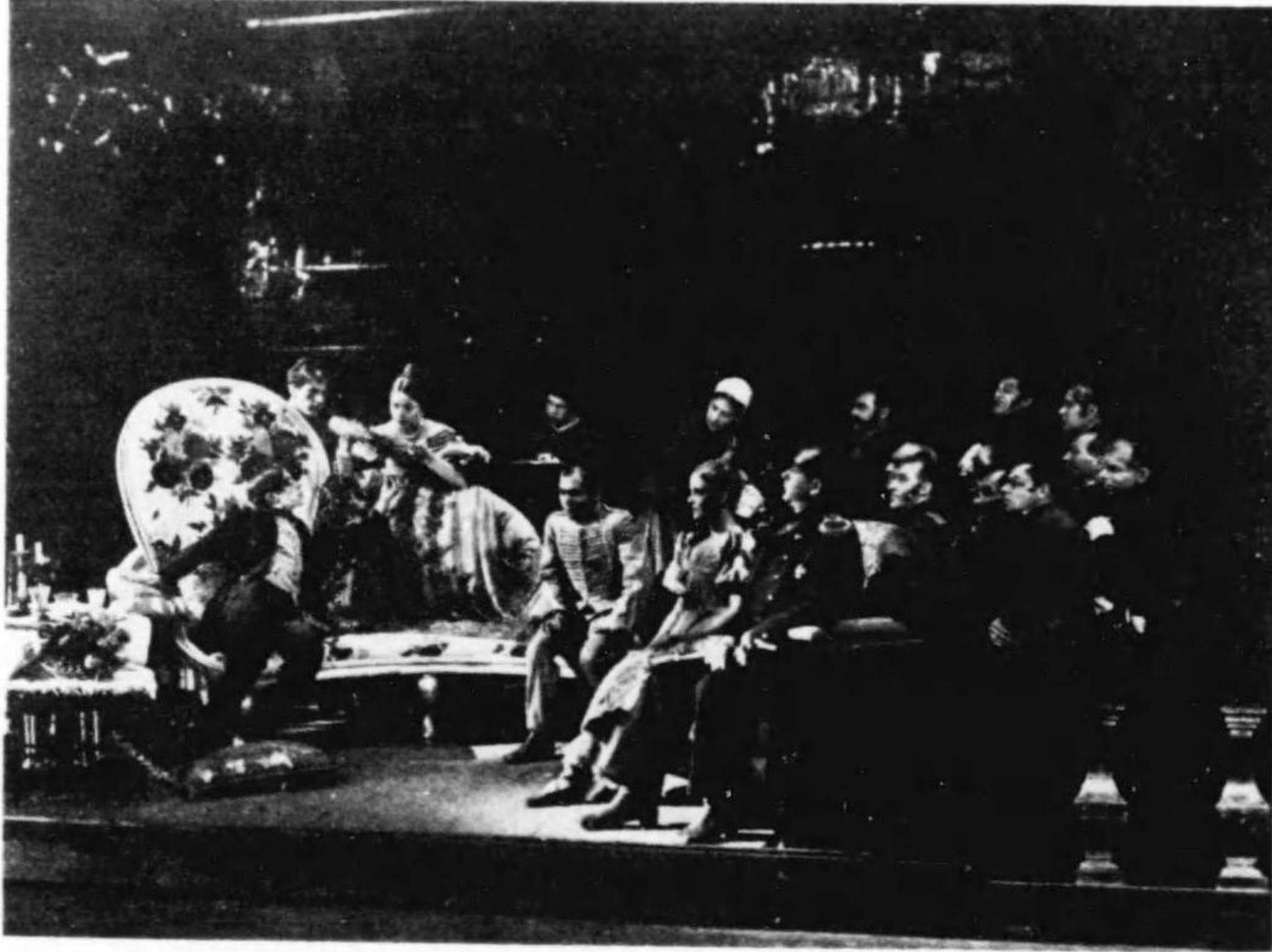
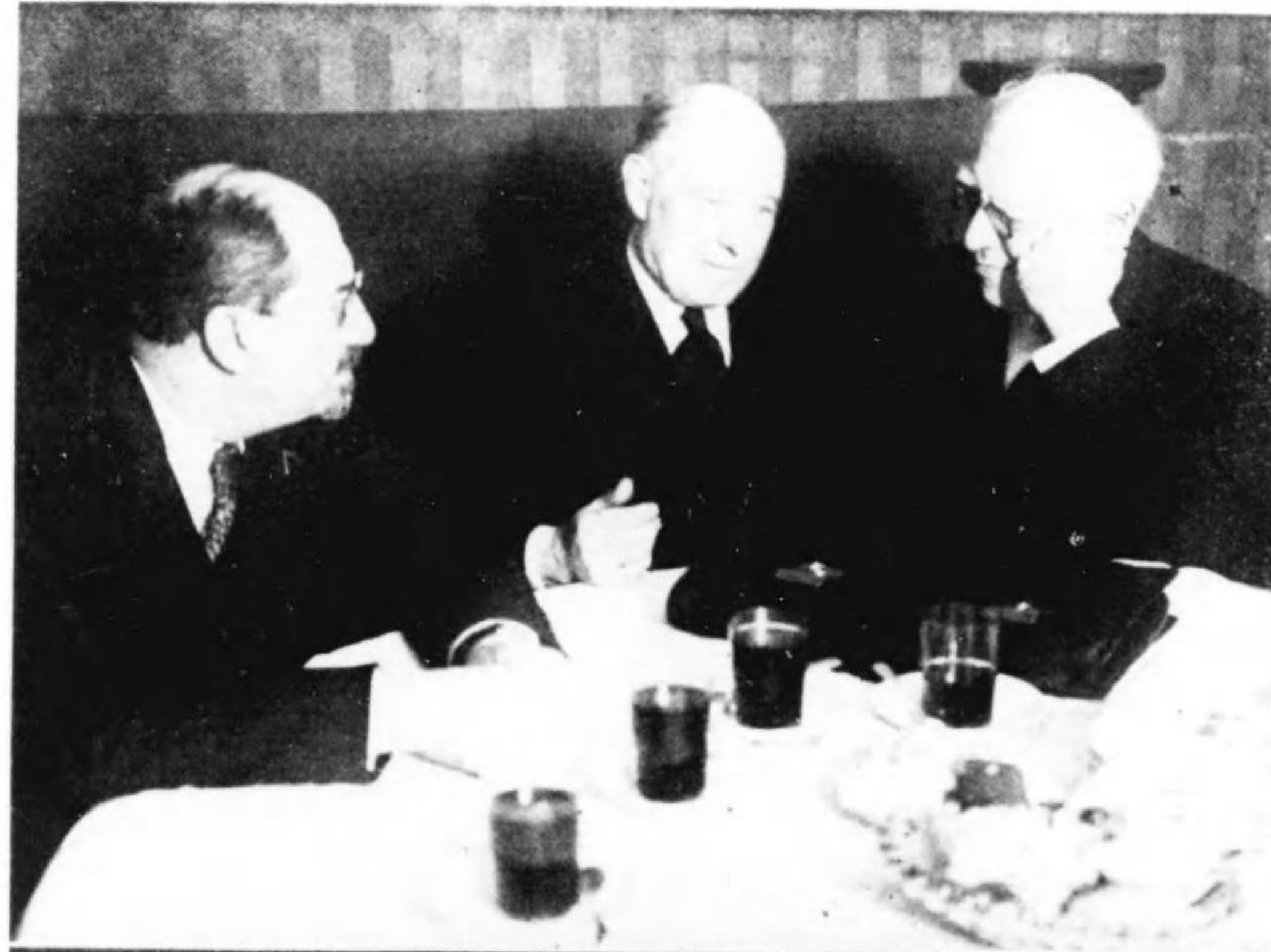
露光量違いの為重複撮影



マス督監臺舞、氏ーキスルヤチナル(員委民人藝學育教)臣大部文(上)
原リゴーゴ)「官察檢」の場劇ドリホリエイメ(下) 氏ーキスウラスニ
面臺舞の(作



露光量違いの為重複撮影



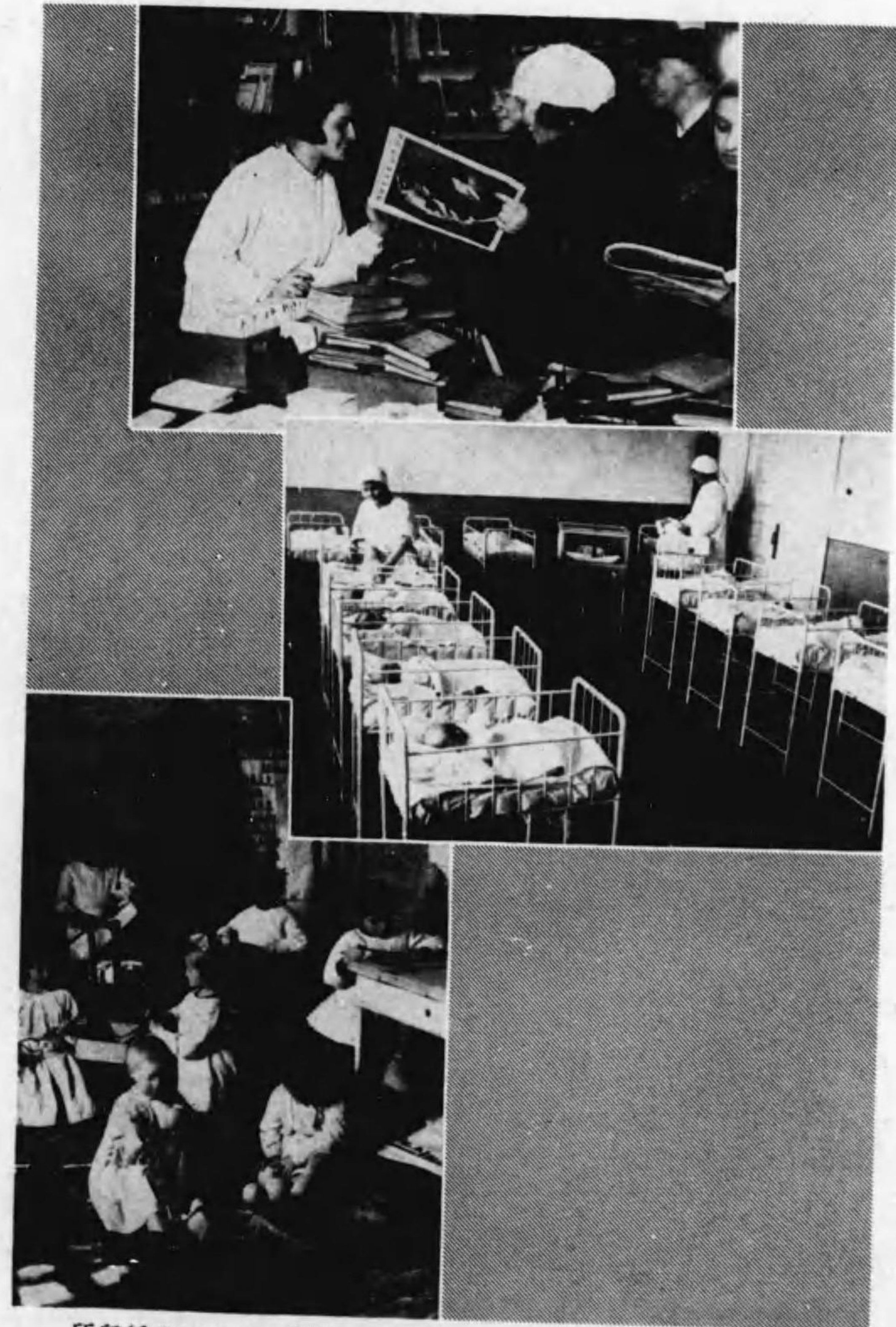
マス哲監臺舞、氏ーキスルヤチナル(員委民人藝學育教)臣大部文(上)
原リゴーゴ)「官察檢」の場劇ドリホリエイメ(下) 氏ーキスウラスニ
面臺舞の(作

は し が き

私はこの叢書の中に「新露西亞」の一篇を加へられた編者の英斷に對して先づ感謝しなければならぬ。ソウエート・ロシヤは、一般にも知られてゐるやうに、科學的精神によつて新しい社會を建設しようとしてゐる國家である。政治も、教育も、藝術も、等しくその一點から生れてゐる。従つてソウエート・ロシヤの觀察はまた科學的方法でなされなければならぬ。臆斷、早計、意識的曲解は科學的精神の保持者にとつて先づ第一に拒斥されなければならない。私達は所謂「ソウエート傳説」の中から、あるがまゝの「ソウエート・ロシヤ」を抜き出さなければならぬ。私のこの小さな記述が、その科學的研究の材料の一つとならば幸福である。

—一九二九・三・一六—

著 者 しるす



所兒托のラクスモ(中) 人婦識知の員係と書讀の者働勞(上)
 育教働勞の(團年少驅先)ローニオヒ(下)

目次大要

口繪寫眞五種

▼はしがき

▼著者の小傳

- 一、ソウエート・ロシア概観……………一
- 二、ソウエート・ロシアに於ける青年教育雜觀……………一六
- 三、ソウエート・ロシアの演劇教育……………三〇
- 四、婦人の友サロン……………三六

—以上—

最近のソウエート・ロシア

秋田雨雀著

一、ソウエート・ロシア概観

私はソウエート革命十週年記念祭の客として一九二七年十月十三日にモスコーに着いて、翌年五月五日に東京へ歸つて來た。滿七ヶ月私はソウエート・ロシアに滞在した譯である。その間、私はウクライナ、カフカズ地方に二週間、レニングラードに一週間、白ロシアのミンスクに一週間旅行した。この旅行の期間の外は全部モスコーに居た譯である。ゲオルグ・

ブランデスの「ロシア印象記」によると、アレキサンダー・フォン・フンボルトはロシアの領土の廣大であることを示すために、月に譬へてゐる。満月の時の月の半球に見える領土よりもロシアの領土の方が五萬平方マイル廣いといふことであつたが、私はソウエート・ロシアに旅行して先づ第一に感じたことは、矢張り此の領土の廣さといふことであつた。で、その次に來る感じは季節の變化といふことであつた。

私のモスコウに着いたのは十月の十三日であつたが、その日はロシアの初雪で、それから翌年の四月始め頃までは完全に冬の季節であつた。そして五月に入つてからは急に明るい太陽が差し込んで來て、溫度も急に上つて、日本の初夏の感じになつた。ロシアには何だか春がなくて、冬と夏の二つの季節しかないやうに私には感ぜられた。眞冬の寒さは私達には堪へ難いやうな寒さであるが、五月になつてから急に自然の壓迫から解放される氣持は又何ともいへない愉快さである。暗く押さへつけられるやうな季節から急に解放された夏の季節、この季節の變化はロシアの總ての藝術の基調になつてゐるやうに感ぜられた。

私はソウエート・ロシアをどういふ風に見ようとしたか、それを一寸話して見やう。今日

までソウエート・ロシアのイデオロギー(觀念學)に關したものと、政治、經濟の理論的方面に關した著述などは可なり澤山にある。私はソウエート・ロシアの實際の生活からソウエート・ロシアの進まうとしてゐるイデオロギーに歸納して行かうとしたのである。そのためには第一に自分の専門である所の藝術の方面、と云つても主に文學と演劇の方であるが、その方面からソウエート・ロシアを見ること、第二は革命後の若い男女の勞働者の生活を實際に見ること、第三には少年男女の教育の方面からソウエート・ロシアの實際を見ようとしたのである。今は主にそのうちの藝術の方面に關したことを話して見たいと思ふ。併しその前に簡單に他の二つの方面のこともお話して置く方が便利であらう。

二

革命後の勞働者の生活は、私が想像してゐたよりも、ずつと立派な状態になつて居る。私は若い勞働者の男女が工場やクラブや街で愉快に談笑してゐるのを見ました。殊に私は若い女性の笑ひを聞いて、ソウエート・ロシアに來て始めて女性の笑ひを聞いたやうに感じた。

「笑ひ」といふことには色々な性質があるけれども、その笑ひによつて、その笑ひが何處から出て来るか、どういふ性質の笑ひであるかといふことが略判るものである。それならば今日のソウエート・ロシアの男女のこの笑ひは何から來てゐるであらう。これは、極く自然なことである。彼等の生活は今日可なり良い生活條件の下に置かれてゐる。先づ男と女とは政治的にも經濟的にも全く同じ權利を有つて居る。労働者の最低賃銀は七十三留、労働時間は七時間になり、さうして享樂の範圍が廣くなつてゐる。例へば演劇、コンサート、そのやうなものも總て職業組合員に對しては五割以上の割引があつて、さうして入場券の先取權がある。であるからソウエート・ロシアの労働者達は七時間の労働が終ると、直ぐに自分のクラブへ行つて讀書をしたり遊戯をしたりする。夕食後は皆伴れ立つて劇場或はコンサートへ行く。これは殆んど日課のやうになつてゐるといつてよいのである。ソウエート・ロシアでは、演劇、コンサートのやうなものは、殆んど生活の必需品のやうな状態になつてゐる。これは實に羨しいことだと思つた。私はソウエート・ロシアの生活を日本の生活と比較して非常な「單純さの美」を有つてゐると感じた。例へば一日の生活にしても、朝八時から九時頃に道

を歩いてゐる人は、方面こそ違へ悉く労働のために歩いてゐる人である。午後四時から五時までに道を歩いてゐる人は労働から歸る人、七時頃から道を歩いてゐる人の大部分は、劇場やコンサートや活動見物に行く人である。そこにきちんとした生活の方面が示されて居る。この生活の單純さは私に非常な喜びを與へた。それから又凡ゆる工場、役所にはその職業に従事してゐる人々に共通のクラブがあつて、そのクラブには舞臺もあり圖書館もあり、その他に色々な娛樂室まで備へてあるので、今日のソウエート・ロシアの労働者達の生活の範圍といふものは非常に廣くなつてゐるといふことが判るのである。

三

次に少年男女の教育に關しては、一層驚くべきものがある。私はソウエート・ロシアを去る前二ヶ月程の間は、度々少年男女の教育の状態を見る機會を有つたが、殊にソウエート・ロシアのピオニーロの教育には非常に得る所があつた。少年團の教育は宇宙的教育、生物學的的教育、労働教育を最も進歩した形式で兒童に施すやうになつてゐる。その結果は今日非常

に良い状態になつてゐると私にも思はれたし、學者達もさう言つてゐた。
 この教育は、恐らく人類の今まで有つてゐた教育の一番進んだものではないかと私には思はれた。ソウエート・ロシアとイデオロギーを異にしてゐる人達は、この教育に關しても色々な誤つた觀察を意識的、あるひは無意識的になしてゐるやうであるけれども、恐らくソウエート・ロシアのビオニーロの教育は、遅かれ早かれ人類の兒童教育の指導的な位置を獲るであらうと私には思はれた。さうしてビオニーロの教育では他の國々ではまだ空想論と思はれてゐるやうなエスベラント教育なども施されて居る。私の知合ひになつたビブキーナといふ一人の女性は献身的にビオニーロのエスベラント教育をしてゐるのを實際に目撃して、私はひどく打たれたことがあつた。

四

これから藝術の方面をお話したいと思ふ。文學の方面では大體において三つの傾向があるやうに私には思はれた。お断りして置くが、私はロシア語に關する知識は未だ非常に乏しい

ものであつて、専門的に文學を論ずることは出来ない。少々比較研究の立場から一般的にこれを見て行くより仕方がないのである。

ソウエート・ロシアの文學の三つの傾向の第一は社會的イデオロギー（觀念學）と文學とを一緒に行かうといふ人々である。第二は所謂同伴者の群である。第三は少數の懷疑派の人々である。第一の派に屬する人々はリベインスキー、グラトコフ、セーフリーナ、デミヤンビードヌキ、ベズミンスキーなどの人々であつて、藝術とソウエートの社會的イデオロギーと一元にするばかりでなく、自己の生活をソウエートの社會生活の中に解け込ませて行かうとしてゐる人々で、多くは若い時代に屬してゐる。

第二は會つて日本に來られたボリス・ビリニヤクであるとか、あるひはフセオドル・イワノフなどで、この人達は革命前からの作者であり、革命を是認し、又革命後立派な作物を書いてゐる人々であるけれども、革命の原動力とはなり得なかつた人々である。この同伴者の中でもビリニヤクの方は少々右傾し、イワノフの方は左傾して行くやうな傾向がある。第三に屬する人々は大抵個人主義的な哲學を有つてゐて、ソウエートの生活を批判したり、冷嘲

したりしてゐる。その最もよい例は「色のついた卵」や「犬の心」などを書いたブルガーコフなどであらう。この派に属する人々には今日では餘り多くゐない。さうして大した勢力にはなり得ない状態に置かれてゐるが、才能の點では可なり立派なものを有つてゐる人があるやうである。ソウエート・ロシアの現在の文學者達の先驅者であり、さうして凡ゆる流派の人から尊敬されてゐるマクシム・ゴールキーは最近三部曲「四十年」の一部である所の「クリマ・サームギナの生活」を書いたが、近頃待ちわびてゐる所のモスコに歸つたといふことは非常に嬉しいことである。コーガン教授は、ゴールキーを評して、ゴールキーこそ眞性のリアリストである。ゴールキーがソウエート・ロシアを捨てなかつたのは、ゴールキーが外の同時代の作家のやうにデカーダンでなかつたためだといふ意味のことをいつてゐた。ソウエート・ロシアでは、ゴールキーの六十年祭を祝ふために凡ゆる新聞雜誌をゴールキーの研究のために費してゐた。ゴールキーも亦ソウエート・ロシアの最近五年間の努力の結果を見たいと希望してゐたのであるから、ゴールキーのモスコ行は双方に對してどんなに嬉しいことであつたであらう。

私はコーガン教授に會つた時に、ソウエート・ロシアの文學が正當の道を行んでゐるかどうかと質問したことがあつた。その時、コーガン教授は「ソウエート・ロシアの文學は正當な道を行んでゐると思ふ。従來の作家達の作物を過去のどの時代の文學に比較しても決して劣つてゐると思はない。但しレフ・トルストイとダストエフスキーをまだ出さないだけである。それに加ふるにソウエート・ロシアは澤山の有望なプロレタリアの作家を出してゐる」と答へた。これは非常に正しい言葉だと私にも思はれた。この外、批評家コーガン教授、ラガチーフスキー、チュジャーク、ガルバチエフ、文部大臣をしてゐるルナチャールスキー、アイフィンワルト、今は失脚してゐるトロツキー、その外美術批評家では先年來朝されたブーニンアルキンなどもゐる。

五

次に演劇映畫の方面では、これも大體において三つに分けることが出来る。第一は従來の藝術的演劇で、第二は社會教育、又は指導的精神を有つた演劇、第三は勞働者自身によつて

なされた所の全く新しい芝居である。第一の例として従来非常な完成を遂げてゐる所の小劇場、あるひは近代劇の上演を主とする藝術座等である。これは主に藝術の総合的美であるか、或ひはクラシック藝術の新しい演出であるとか、さういふ方面をやつて居る。私は藝術座の「夜の宿」とか、小劇場の「貧乏は罪ではない」などを見た時に矢張りロシアの藝術の完成した姿をこゝに見ることが出来た。第二はメイエリホリド革命劇場、ワフタンゴフ劇場などで演ぜられるもので、主にソウエート・ロシアの社會意識を藝術によつて示したり、あるひは革命精神を刺戟するやうな作物を上演して居る。ロマシヨフの「空氣饅頭」、グリーボフの「生長」、メイエリホリドの「支那よ吼えよ」、ワフタンゴフの「ラズローム」などは第一の演劇に比較して全く新しい性質を有つてゐる。

これを概括していふと、後の演劇は群衆の生活を舞臺の上に展開させて、そこから社會的なイデオロギーを作り上げて來ようといふやうなやり方であつて、舞臺の様式も様々あるけれども、寫實主義と構成主義の巧妙な調和によつて表はされて居る。こゝに一寸注意しなければならぬことは、メイエリホリドの劇場で歌舞伎の要素を取入れてゐるといふことで

ある。メイエリホリドは歌舞伎をどれだけ知つてゐるか判らない、しかしメイエリホリドは日本の歌舞伎から「ピオ・メカニズム」(物理學的機械主義)の要素を取つてゐると稱して居る。「ピオ・メカニズム」といふことは、どういふことかといふと一番簡単な方法で、一番有力な効果を得るといふことださうである。例へば一人の人が手を舉げると外の人間は手裏剣を額に刺された形をする。又は一人の人が手を舉げると、一人の人がひつくり返るとか、さういふやうな簡単な動作によつて、大きな働きが現れるやうな技巧をいふのであるらしい。しかし私の見たメイエリホリドの演出では寧ろ反對で、餘りに多くメカニズムの要素が用ひられてゐるやうに感ぜられた。例へば有名なゴーゴリの「檢察官」の新演出などを見ても、グレボイドフの「智慧の悲しみ」などの演出を見ても、實に贅澤な道具建てで歌舞伎の有つてゐる、所謂「ピオ・メカニズム」と正反對のもののやうに思はれた。

六

さて第三は勞働者によつて演ぜられる芝居で、その最も成功したもの一つはシーニヤ

ヤ・ブルーザ(青服劇團)であらう。これは概括的にいふと、人間の男女の裸體の美が基本になつてゐるもので、スポーツと演劇とを一緒にしたやうなものである。殆んど裸體に近いやうな男女が楯や旗を持つて立派な音楽に連れて色々なダンスをする。さうしてそれは皆ソウエート・ロシアの生産、あるひは労働に關係したものを示したものである。色々な機械の形であるとか、電氣に關した器具の形であるとかを描いた楯を持った男女が、非常に巧妙なダンスをして、その楯を組み合せると工場の形になるといふのもある。又は男女のコックの愉快なダンスもある。人間の身體を自由に取扱つて、鐵材や木材を運搬するやうな形をしたり、エンヂンの働く形であるとか、齒車の形であるとか、色々な形を示して、その芝居を見てゐる間に、私達は労働といふことの喜びを感じる。さうしてその労働はどういふ社會的意識の下に行はれなければならないかといふことを感ずる。さうしてそれが同時に一つの美しさを有つてゐるのである。私はこの芝居を對外文化聯絡協會の會長のカーメネバ夫人と一緒に見たが、芝居の終へた後で、批評を乞はれたので、「この芝居では肉體が美と一緒にさり、メカニズムが美と一緒になつてゐる、さうしてこの演劇は、恐らくソウエート・ロシア

のもつとも先驅的な位地にあるばかりでなく、世界の演劇の先驅をなすものであらう。」と言つた所が、その芝居の主宰者は「私達はさういふやうな野心を有つて居りません。私達はただ労働者の有つてゐる藝術本能を表現するに過ぎないのです。しかし、それが世界の藝術のために貢献することが出来れば、この上の幸はありません」といふ意味のことを答へた。この外、人形芝居のペトルーシカのやうなものもあるが、これに關しては別に新聞は通信したことがありますから茲ではお話ししないことにする。しかし私は東京へ歸つて来て、街を歩いて見ると、ペトルーシカと同じ人形が盛んに製作されて、縁日などで賣られてゐるのを見て非常に懐しく思つた。シャルマンカといふ古風な樂器を鳴らしながらペトルーシカの人形と掛合嘶をするやうな無邪氣な光景は今でも私の眼に残つてゐる。

七

映畫の方面では「ソフキノ」といふ國立撮影會社が「バチムキン」、ゴールキーの「母親」「オクチャャブリー」「バリーの靴屋」のやうな大作を製作したといふことは誰でも知つて居

る。「バチムキン」は「母親」は恐らく活動寫真といふものの始まつて以來の傑作だといはれて居るが、日本では輸入禁止になつたのは誠に残念である。その代り私は「ソフキノ」に招待された時に、皆の代りに十分よく見て来た心算である。「バチムキン」、「母親」のやうな作物は所謂宣傳藝術ではなくて、人間の本質に訴へる藝術であるから、世界の凡ゆる人は見て、それによつて刺戟を受けなければならぬ筈であるのに、それを見ることが出来ないのは實に残念なことである。

これを要するにソウエート・ロシアの藝術は革命前には一部の貴族や富豪やインテリゲンチヤ(知識階級)にのみ開放されてゐたのに、今日では多數の労働者達に對して開放されてゐるといふ點で、藝術の職能の上から重大な進歩をなしてゐるといふことだけは斷言出来る。總て藝術の評價は、その藝術の有つてゐる價值、および藝術の鑑賞の範圍等の兩方面から見られなければならぬ。この點でソウエート・ロシアの現在の藝術は、もつとも自然な發達を遂げてゐるといひ得ると思ふ。ゲオルグ・ブランデスは四十年前に「ロシアの未來を知ることは全ヨーロッパの未來を知ることだ」と言つたが、今日ではソウエート・ロシアの未來を知る

といふことは全人類の未來を知ることだと私には思はれる。

ニ、ソウエート・ロシアに於ける青年教育雜觀

一、はしがき

私がモスコーにゐる間に度々かう云ふことを聞いた。ソウエート・ロシアへ來る外國の客は、色々な學校の施設や留學生の生活を見せて貰つて非常に興味を感じる。そしてその時は何時でも案内者や説明者に對して、ソウエート・ロシアの教育の讚美をする。併し一度ソウエートの領土を出るや否やソウエート・ロシアの教育の惡口を云ふ、惡口を云はないまでも、かういふことでソウエート・ロシアの教育に非難の矢を向けやうとする。ソウエート・ロシアの當局者は外國人には模範的な學校だけを見せて、自然に放任されたまゝの教育状態を見せまいとすると。この事實は西ヨーロッパの視察者に當て箴る批評ばかりでなく、矢張り、東方の視察者にも當て箴るやうな氣がする。恐らく無意識的にその人の有つてゐるイデオロギーが、その人をさうさせるのであらう。例へば、ビオニーロの教育に關しては西ヨ

ヨーロッパの視察者の殆んど大部分は非常に驚きと讚美の感情をもつて受け容れて行くに拘はらず、その人達の報告を見ると、何時でもその反對のものとして表はされてゐる。ビオニーロの教育に關しての西ヨーロッパの視察者の共通な批判の一は、ビオニーロの教育は極めて挑戦的な、ミリタリストイックなものであるといふ批評である。この點に關しても、私は私の觀察した範圍では、觀念の上に可なりな相違がある。若し、挑戦的、或はミリタリストイックな要素があるとすれば、それはソウエート自身のものではなく、それは寧ろ反對のイデオロギーを有つてゐる國々によつて強制されてゐるものであると言ふことが出来るやうに思ふ。

二、ビオニーロの教育

革命記念日にソウエート・ロシアに招かれた各國の代表者の最も興味をもつたものは、少年團の教育及び託兒所の設備だと云はれてゐるが、私はビオニーロの教育を日本のボーイスカウトの教育などと比べて、その文化的要素の多い點に先づ驚かされた。よく知られて

るるやうに、ビオニーロには二つの種類があつて、一は大戦、革命、内亂時代に父母や兄弟を喪つた家なし兒を國家の手によつて教育してゐるもので、第二は普通の家庭の子女等である。私はモスコー及びミレスク、ウクライナ地方で澤山のビオニーロの教育を見る機會を得たし、又モスコーを去る一月半ばかりの間、絶えずビオニーロの教育を観る機會をもつたので、こゝにその見聞の一二を記して見やう。モスコーではビオニーロ第二會館の團體や、五十八分隊のビオニーロ生活に一番親しみをもつたので、こゝで觀たビオニーロの男女の教育状態を話して見たいと思ふ。ビオニーロの教育は、宇宙的教育、生物學的教育、勞働教育の三の要素によつて八歳から十歳までの子供を教育してゐる。例へば宇宙的教育の方面では土地と人間との關係を教へ、生物學的教育では動植物と人間との關係を示し、最後に勞働教育では人類の生産及び勞働の基礎教育を施すのである。生物學的教育の方面では、兒童に早くから動植物と自己との關係を示すために、兒童の所持品、例へば帽子掛などの上に動植物の形を描いて、その動植物の習性や人類に對する效用といふやうなものを示すやうにしてゐる。また勞働教育の方面では、自己の生活に一番接近した器物若くは機械の製作に従事させ

る。私は五十八分隊のビオニーロの會館では非常に立派な頭腦と技術をもつた老人の技術家（大工さん）がビオニーロの男女にテーブルや、椅子や、農民藝術風の箱、煙草入などを製作させてゐるのを度々觀ることが出來た。こゝでは新しいビオニーロの入隊の祝賀會に招かれた時に、テーブルの上をビオニーロの製作になる小さい汽車の走つて來るのを觀て驚かされたことがあつた。この汽車は鐘詰の鐘とか其他の廢物を利用して作り上げられたもので、そのデザインだけは技術家が與へるけれども、製作は殆んど兒童自身の工夫や研究によるものであつた。またこの五十八分隊のビオニーロが、ある國際無産婦人デーに、澤山の婦人の會衆の前で分列式を行つたり、ビオニーロからの國際無産婦人會に與ふる挨拶の演説をしたりのを見た。第二會館の方面ではビオニーロの男女が當番によつて會館のあらゆる事務を處理するばかりでなく、臺所掛が買出しや料理の一切を引受けて、ビオニーロ及び來客に備へてゐる様をも見た。しかもそれらのことは大抵十三歳から十五歳までの子供等によつてなされるのである。第二會館のビオニーロの教育にはイデオロギストの男性が教育に従事してゐる他に、ビブキーナといふ立派な婦人のエスベランテイストが入つて、ビオニー

ロの男女に熱心にエスベラント教育を施してゐるのを見た。そのエスベラントの教育はナトウラ・メトードと云つて、教科書を用ゐずに會話の間に自然にエスベラントの規則とボキヤブラリーを覚え込むやうにさせるのである。この方法は日本では餘りやらないけれどもソウエート・ロシアの至る處で行はれてゐるものであつて、その効果は非常に良いものである。即ちこの方法で行くと、文法、會話、讀書の力が並行して進むといふ利益がある。私はある日に、ビブキーナ女史のエスベラント教育を施してゐるのを見に行つたときに、三十人以上の男子のビオニーロが私の室に入るや否や、「サルートン」と一齊に挨拶したので、非常な昂奮を感じた。そして子供等に向つて、私は短い挨拶をした。その挨拶の言葉に「諸君はソウエート・ロシアのビオニーロであるばかりでなく、恐らく全世界のプロレタリアのビオニーロであらう——正直に云ふと、私達の國のビオニーロは、諸君と全く違つた世界のビオニーロであるけれども、諸君の活動によつて恐らく諸君と私達の國のビオニーロとは何時か同じ世界の上に同じ活動する時が来るでありませう……」といふ意味の言葉があつた。私はこの會館でビオニーロのソウエートを見たことを憶ひ出す。ビブキーナ女史は、私が下でビオ

ニーロの子供と話をしてゐると、二階の室でビオニーロのソウエートがあるから見に来ないかと云つて私を誘つて呉れた。私は喜んでビブキーナ女史に案内されて二階の應接間のやうな室へ行つた。そこには大きなデスクの他に丸テーブルを圍んで、八つほどの椅子が並べられて、九歳から十五六歳までの男女のビオニーロが、頻りに何か議論をしてゐる。何を主題としてソウエートを開いたのかと聞くと、この週間に二日間休暇があるので、その休暇を観劇に費したい。どんな芝居を観たら良いかと云ふことをソウエートに諮つてゐるのだと云ふことであつた。八人の代表者は銘々に自分の見たいと思ふ芝居と劇場の名を擧げて、その理由を述べてゐる。ある者は藝術座のイワノフの装甲列車を見たいと云ひ、ある子供はメイエリホリドの檢察官を観たいと主張し、ある子供は革命劇場を観たいと主張した。一番小さい子供は大劇場のオペラを観たいと云ひ出した。私はこの小さな子供が大劇場のオペラを観たいと云ふ言葉を聞いて何とも表現出来ない感慨に打たれた。その子供には無邪氣な美しい大劇場のオペラの幻影が彼を誘惑してゐるのだらうと思つた。すると一人の女の子がキネマを観たいと云ひ出した。すると小さな子供はキネマよりも芝居の方が面白いと云つて、そこに輕

い個人的な論争があつたりしたので、私は特別の興味を感じた。このやうに委員によつて述べられた意見を参照して當局者が、ピオニーロの行く劇場を決定するのだと聞いた。ある場合には一の劇場に皆で行き、或は児童の志望の性質によつて、劇場を別けて観劇する場合もあると云ふことであつた。之を要するに、ピオニーロの教育は、ピオニーロの教育に従事してゐるイデオロギスト、及び殆んど献身的にピオニーロの間に入つてピオニーロの教育や相談役に任じてゐる女性のインテリゲンツァ達（知識階級）によつて、非常な良い結果を生みつゝあるといふことだけは断言出来ると思ふ。文壇六十年を祝はれるためにモスコーに歸つたマキシム・ゴオリキーは自分が名譽校長になつてゐるウクライナのピオニーロから來た美しい手紙に刺戟されてモスコー入りを決心したと云はれてゐるのは、ピオニーロの教育に關した一の美談といふことが出来るであらう。

三、国立工藝圖案學校

ソウエート・ロシアの義務教育、大學教育に關しては色々な報告もあることであるから、

こゝでは別に云はないとして、私の觀た國立の労働者教育専門の學校に就いて記して見やう。この學校は學校と工場とを聯絡させた特殊な學校で、この種の學校では世界で一番完成したものだと云はれてゐる。この學校は国立工藝匠學校と名づけられるもので、文部大臣のルナチャルスキーの管理の下に、クリューコフといふ篤學な人が校長になつてゐる。一九二三年の創立であつて、革命前にはこの種の學校はロシアには全く存在しないものであつた。教育の方法は所謂個人的方法によるもので、教育ある人と教育のない人とを一緒にしてやつて行くといふやり方である。工場労働者は三ヶ月間こゝで自分の仕事に要する學課を熱心に學んで、再び工場へ行く。また一二年經つて必要を感じた場合には、再びこの學校へ戻つて來て、自分に必要な學課を學ぶのである。主に製圖及び機械の構造の研究などをするのであるが、始めは簡単な線の描き方から、終には機械の研究を教へて行く。ソウエート・ロシアに於ては今まで此の種の學校が全くなかつたので、學校自身が教科書を全部作つて學生に與へなければならぬ。この學校の要求は急速に殖えて來て、現在二千人の生徒が學んでゐるが、尙ほ千人の入學者が入學の時期を待つてゐるさうである。モスコーの此の學校の建

物が狭いので十分にその要求を充たして行くことが出来ないやうな状態になつてゐる。こゝで學んだ學生達は卒業後工場で皆な立派に働いてゐる。立派な製圖家や機械工になつてゐる。二千人の生徒の十五プロセントは女である。この學校でもエスベラントの教育が行はれてゐるが、この學校にエスベラント運動が入つたといふことは、ソウエート・ロシアのエスベラント運動に大きな光明を與へたものだといはれてゐる。何故ならば、このエスベラント運動は、語學者やインテリゲンチヤの運動ではなくて、學校から労働者への運動だからである。

こゝの學校で私達の知ることは、こゝの學校には「イスボル・ビュロー」(執行機關)があつて、それが非常な良い結果を生んでゐるといふことであつた。「イスボル・ビュロー」といふものは、どんな仕事をするかといふと、生徒から代表者を選んで學校の文化的労働をするもので、學校管理者と學生との關係を最も効果的ならしめるために色々な仕事をするのである。例へば、事務との交渉、學資の事、會合の開催、生徒の集會、衛生の設備等の色々な事に就いて生徒の主張を集めて、それを管理者に向つて要求して行くのである。二千人の學

生の中から選舉によつて、十一人の「イスボル・ビュロー」の委員を選び、その中から三人の執行委員を擧げる。面白いことは「イスボル・ビュロー」は生徒を監督するばかりでなく、教師の教授方法、生徒に対する態度を監督する権利をもつてゐる。生徒が教師に對して不平を有する場合には「イスボル・ビュロー」に懇へることが出来る。つまり普通學校の管理者の權利を生徒の中に分割する形である。三千人の生徒の中で五十人のコムニストに、八十人の女性コムニストがあるが、この人達の意識的な活動は非常に華々しいもので、黨に加入してゐない學生達に對しても、隠然とした指導的影響をもつてゐる。私達がアメリカの若い代表者達とこの學校を訪ねた時に、盛んな質問を受けたことがある。その質問の方法は委員席に坐らされてゐる客に對して、生徒が質問を書いた紙を渡すのである。その紙を受取つた人は、その質問に對して一々答へなければならぬ習慣になつてゐる。例へば、私の受けた質問を参考のために擧げると、一、ロシアに關する日本の著述は本當のソウエート・ロシアを傳へてゐるかどうか。一、日本のブルヂョア新聞や政府はソウエート・ロシアに就いてどんな事を云つてゐるか。一、君がソウエート・ロシアを訪問する前と現在との間に觀

念の相違があるか。あるとすればどういふ點で異つてゐるか。一、プロレタリアの作家に對する日本の検閲制度に就いて。かういふやうな種類のものである。

四、青年クラブに就いて

前に挙げたものは、私のモスコで觀察したものであるが、今挙げる青年クラブはレニングラードで見たものである。去年の十二月に私達がレニングラードを訪ねた時に、私達の友人のボズニアーク君がレニングラードの「キム」の會合で、日本のお客を招待したいと云つてゐるが、行く興味があるかどうかと云つた。私達は喜んでその招待に應じた。その會場はネヴァー河に通ずる堀割に沿うた舊の貴族の家らしい立派な建物であつた。建物に入ると若い「キム」が愉快さうな顔をして盛んに立廻つてゐた。まだ開會には間があると見えて、私達はある一室に案内された。私達の此處へ招かれて来たといふことが傳つたと見えて、輕い激動が會衆の間に起つてゐることが感ぜられた。ある室では男女の青年達が集つて芝居やダンスの稽古をしてゐた。一般のクラブがさうであるやうに、このクラブでも大ホールの他に

小劇場風な小ホールもあつたが、私達が導かれて行つた所は小ホールの方であつた。そこには色々な遊戯の道具などがあつたが、ホールの真中に茸形の傘があつてその傘の下に腰かけてゐると、青年男女がその傘を廻轉させる。すると傘が廻轉しないで自分達がメーリ・ゴ・ラウンドに乗つてゐるやうな錯覺を起すといふ仕掛である。インテリゲンチヤでなしに、知識的な美貌のコムソモルが私達の前に来て、盛んに日本に關する質問をしたりした。間もなく左の窓際に腰かけてゐた一人の青年が、ロシア特有の大きな手風琴を鳴らし始めた。一齊に拍手が起つた。手風琴を鳴らしてゐる青年は、眼を瞑りながらトボけた顔をしてロシアの民謠を歌ひ始めた。一つが了へると別なものが要求され、それが了へると又別のものが注文されて五つほどの民謠を歌つた。それにつれて小さなホールの中でダンスが始まつた。舞臺の上ではアメリカ風のセーラー・ダンスが始まつた。この時、私達は案内者に連れられて、二階の應接間へ案内された。そこは立派な應接間で電氣が點いてゐなかつた。ソファへお掛けなさいと云ふので、ソファへ腰掛けると、私達の前に電氣で性に關する警戒の文字が表はれて來たので、皆で噴き出してしまつた。これはソウエート・ロシアの性に關する教育法の

一だと云はれてゐる。一九二三年頃までの性に關する問題はソウエート政府の最も解決に苦しんだ出來事の一であつたと云はれてゐる。ソウエート・ロシアは色々な方法によつて青年男女の性に關する教育を試みてゐるが、今私の見たのも、その一の方法と見ることが出来るであらう。やがて開會のベルが鳴つて私達は千人程の青年男女の集つてゐる大ホールの前列に案内されて行つた。私達のそこを通つて行くのを見て皆は面白さうに私達の方を眺めてゐた。ダンスがあつた。獨唱があつた。勞働者自身の立派なオーケストラがあつた。私達が舞臺の色々な催しに見惚れてゐる間に、會場の中に面白い出來事が起つた。それはある演技の了へた瞬間に大ホールの上で非常な爆音が起つた。皆、吃驚して飛び上つた。私などは一番先に膽を潰した方であつた。天井を見上げると爆發と同時に破裂した燈籠のやうな形をしたものの中から、澤山のボスターが會場内に飛び散つた。それを拾ひ上げて見ると、ソウエート・ロシアの現在の狀態に就いて青年男女に警告を與へるやうな言葉や、ソウエート・ロシアの進んで行く途に就いての澤山のスローガン(目標)が示されてゐた。青年男女がワイワイ云ひながら、そのピラを拾ひ上げては讀んでゐた。そして自分の讀んだものは他の人に與

へ、他の人の讀んだのは自分で受取つて讀んだりしてゐる。これは凡てクラブの執行委員達によつてなされる事であつて、ソウエートの青年達の自己教育、自己反省の一方方法である。會合の了へた後では盛んなマーチが行はれて、百人ほどの男女が音楽に合わせてホールの中を練り歩くのである。その無邪氣さがとても日本の社會に於いては想像することも出来ないものである。私はこのマーチの中からもエスベラントで私達に叫び掛けて來る聲を聞いたので非常に愉快に感じた。レニングラードの此のクラブには立派な圖書室もあり、演劇の團體もあり、又、オーケストラのバンドも出來てゐるさうである。ソウエート・ロシアのクラブの生活は非常に愉快なものであるが、絶えず自己反省及び自己批判の方法をもつて、ソウエート・ロシアの現在の世界に於ける位置を青年男女に知らせるやうな方法をとつてゐる。この事は極めて自然な事であり、又、興味のある事でもあつた。

三、ソウエート・ロシアの演劇教育

ソウエート・ロシアの新文化のあらゆる施設の中で最も確かな地位を持つてゐるものは、教育的施設であるといはれてゐるが、その教育の方法の一つとして児童劇が採用されてゐる。

ソウエート・ロシアの児童劇には二つの種類がある。第一は大人によつて行はれるもので、第二は児童自身によつて行はれるものである。ソウエート・ロシアでは、一般的に見て、演劇といふものは藝術的欲望の満足のためにあるものでなく、個人の欲望と社会的欲望とが一元になつて初めて生れるものであると考へられてゐる。従つてソウエート・ロシアの演劇は、教會と學校の性質をも兼ね備へてゐる形がある。それは、一つにはソウエート・ロシアは超自然な信仰を排して、民衆をして合理的なる生活を営ましむるが爲めに、既成宗教から民衆を解放しやうと試みてゐるので、嘗つて教會の與へた教化作用が劇場に移されることになつたのと、尙ほ一つは、社會の組織が急激に變化したので、學校以外の機關に於て、なるた

け急速に、なるたけ效果的に民衆を教育して行かなければならない必要が生じたが爲めである。そこで、劇場は藝術を創造する場所であると同時に、教會と學校とを兼ね備へた性質を持つ場所となつたのである。

それ故ソウエート・ロシアの児童劇もやはりこの二つの性質を兼ね備へた性質を持つてゐる。私は七ヶ月の旅行中モスコ、及びレニングレードで、非常に立派な児童劇場の演劇及び児童自身によつて演ぜられた演劇を見ることが出来た。レニングレードの児童劇場では、「アングル・トムス・ケビン」の勝れた演出を見ることが出来た。他に「ペトルーシカ」といふ巧妙な指人形の芝居を見ることが出来たし、またモスコの児童劇場ではパウシキンの童話を脚色した愉快な演劇と、またこゝでもペトルーシカの數番を見ることが出来た。

モスコの児童劇場はソウエート・ロシアの有名な舞臺監督スタニスラウスキの夫人の令妹であるナタリヤ・サツツ女史によつて主宰されてゐるもので、この人の事業に關しては、私達と一緒にモスコにゐる故小山内薫君はやゝ精しく紹介されたこともあるが、この人の児童劇に對する仕事はソウエート・ロシア十年間の施設の中でも特筆さるべき價値を持つて

るものと言はれてゐる。

ナタリヤ・サツツ女史は観劇に來てゐる兒童達に舞臺の上から話しかけて行つたり、また演劇を観てゐる兒童達の間には劇場關係者を入れてやつて、兒童の演劇から受ける印象を表にしてとらせたりしてゐる。この方法は有名な心理學者の學說を土臺にしたもので、兒童が笑つたり喜んだりするところは線が高くなり、無感興なところは線が平になり、全く感興を失つたところは線が下の方に降りて來る、またざわついた部分は線がぎざぎざに表されて來るといふやうな方法で、其出來上つた表を見ると、醫師の體溫表そのまゝである。この表の結果によつて演劇藝術家は演劇の演出法や、脚本の選擇を決定して行くのである。この方法は良好な結果を生んでゐるので、今日では何處の兒童劇場にも採用されてゐる。特に注意すべきことは、ナタリヤ・サツツ女史は各國の兒童劇の研究に従事してゐるといふことで、私達のこの劇場を訪ねた時には、日本の優秀な兒童劇として「松山鏡」の精巧な舞臺面や繪畫などが展覽されてゐた。

次に兒童自身によつて行はれる演劇では、私はモスコの第二會館のピオニール（先

驅少年團) 達が、モスコで最も有名なメイエリ・ホリド劇場で、ピオニール自身の創作した演劇を演じてゐたのを見たことがある。

ソウエート・ロシアのピオニールとは、ソウエート・ロシアの先驅者であり、また人類の先驅者であるといふ意味を持つてゐるもので、ピオニールとは英語のバイオニール（先驅）と同じ字義である。ソウエート・ロシアのピオニールには二種あつて、一つは世界大戦、國內戦時代に親や姉を失つた不幸な兒童等を國家が、國家の費用によつて、最も進歩的な教育者達の意見によつて教育してゐるもので、他の一つは普通家庭の兒童にピオニール教育を施してゐるものである。ピオニールは日常宇宙教育、生物學的教育、労働教育の三つの方法で教育されてゐるものであるが、これがソウエート・ロシアの全教育の基本をなすものといつてもいゝのである。ピオニールの教育精神は科學的事業であること、労働本位であること、また自主的であることをもつて特色とするが、兒童の藝術的訓練も決して無視されてゐない。例へば「壁新聞」の製作によつて文學的、繪畫的才能が急速に發達して來てゐる、文學の方面では十二三歳の少年詩人によつて創作された驚くべき叙情詩が「壁新聞」の上に發表されるこ

とは度々であり、繪畫の方面ではクレヨンによる自由畫の技量では世界の何處の子供よりも勝れてゐるとまで言はれてゐる。

メイエリ・ホリド劇場で演ぜられた兒童自身の演劇は、特別の指導者もなく、ピオニーロ自身が、脚本の創作も、舞臺装置も、悉くやつて、然も自ら俳優として活躍したのであるから、それだけで既に一つの驚異といはなければならないものであつた、その芝居の一つの筋は、不幸な親を持つた子供が孤兒になつて、あらゆる悲惨な境遇を嘗め、最後にピオニーロの團體に入つて来る。然しその子供は共同生活に慣れないために、最初の内は非常に苦しむけれども、最後にピオニーロの團體と共同生活をする事が出来るやうになり、そこに新しい連帯社會の道徳を産み出し、そして新しい社會の建設の爲めにその子供も亦た働いて行くといふところを表はしたものであつた。

これを要するにソウエート・ロシアに於ける兒童演劇は、單に兒童等を喜ばせるといふだけでなく、廣い意味の社會見地から、その兒童等の社會に於ける位置を自覺させ、そしてソウエート・ロシアの建設しやうとしてゐる理想國家の目的に合致させやうとしてゐるのであ

る。ソウエート・ロシアでは藝術はいつでも社會的イデオロギーと一致しなければならぬとされてゐることは、藝術の専門的見地からしても、また社會的見地からして注目すべき事實といはなければならない。

四、「婦人之友」サロン

— お客 秋 田 雨 雀 氏
— 主題 女性と現代ロシア

昭和三年六月七日婦人之友社應接室にて

ソウエート・ロシアでは「女性」が社會的にどういふ地位を占め、どういふ働きをしてるか、また家庭にあつて育児や家の問題をどう處理してゐるかなどいふことは、私たちの現在に一番興味ある問題でございます。教育が完全にちかいかといふやうなこともいへませんが、どういふ風に完全か、それについても伺ひたいと思ひます。

(秋田 革命前のロシアの女性が非常に極めてあつたことを想ひ起して下さい。嚴重な家長制度、主人だけ權力があり他のものは下僕同然、そしてそこでは殊に女は全く奴隷でした。一八六〇年代ツルゲネーフの小説に出て来る頃ですね、この頃からこの女性は徐々に覺醒して、

男性と一緒に働くことを始め、家長制度とか奴隷扱ひとかは次第になくなりました。そして一九一七年に二月及び十月革命から女性は非常な勇氣を以て之に携はつて困難なロシア女性解放を完成したのです。この結果女性は男性と全く同様の地位に引上げられ、選挙権にも工場の賃金にも平等が獲得されたのです。この努力は大きなものでしたらう。

そして現在では女の人々は家庭の外へ出て働くことが多いのでせうか。

(秋田) 現在では家庭で女が臺所許りしてゐる所もありますが、インテリゲンチヤの家では女も働くのが普通になつてゐます。もつとも大學の教授など夫は外で忙しく働いてゐるので、妻は家で家の仕事を引受けながら夫の原稿の整理をしてゐる家庭も見ました。労働者は勿論共稼ぎが普通です。

さういふことは家庭内の仕事を整理し節約する仕方なり設備があつて、はじめて出来ることとせうが、其の點は如何ですか。

(秋田) さうです。その一つの例は子供についての施設ですが、外へ働きに出る人のために大變進歩した託兒所が澤山出来てゐるのです。工場へ出かける朝、子供を渡し、歸りに乳をやつ

て受取るのです。私は夕方母親達が嬉しさに子供に乳をやつてゐるのを度々見せられました。この家庭内の雑務を簡単にするために、どんなに施設や仕方が努力されてゐるか、おわかりでせう。平等にそして愉快に利用することの出来る公共食堂の立派な設備についても同じことが見られます。たゞこれらは何れも工場附屬のものばかりで農村の方面では、これから施設されて行くところです。

すると工場労働階級の女の人々が一番進歩した制度の幸福に浴して居るのですか。

(秋田)さうです。そして殊にインテリゲンチヤの男女が、今のロシアにとつて非常に有用な活動をしてゐるのです。一般に革命後労働者の状態は非常によくなつてゐますが、インテリゲンチヤは自分たちの生活をして行くと同時に、新しい時代を教育し、創つて行かなければならないのです。従つて其の責任も負擔も犠牲も實に大きい。若し今のロシアの状態に苦情があるとなれば、インテリゲンチヤから起つて来るべきでせう。これらのインテリゲンチヤは、革命騒亂中も外へ逃げて行かなかつた人たちが主です。労働者が樂な生活をしてゐるに比し、非常に努力の生活をしてゐます。私がモスコウで一番感じたのはインテリゲンチヤの

娘さんたち(と云つても二十五から三十五位ですが)の働き振りでした。中でも一番大きな仕事をしてゐるのは BOKC といふ會で、インテリゲンチヤの女が五十人ほど働いてゐます。會長はマダム・カアメネバ、トロツキーの妹さんですが、ドイツの大學に勉強した教養の高い有爲な人物であることは御承知のとほりです。彼女が文部省から出費されて、このヴォツクスを組織したのです。彼女の地位はほとんど大臣のやゝな格と云へるでせう。このヴォツクスの仕事は、ソウエート・ロシアの政治、軍事、經濟、藝術の中に生れて來る文化的要素を抽出して表に作り、それを外國に傳へ、また外國のさういふ文化的要素を自國へ傳へることなのです。これは今、ロシアがその社會形態の全く違つた國から極力排斥されてゐるのに對して、ロシアの立場を明かにするために外國と絶えず交歓して行く上の文化的理解を促進して行くといふ非常に重大な使命を帯びて居ります。この仕事は大變立派なものであつて、そしてそれは主としてこの五十人の女の人の献身的な働きによると云つてよいでせう。このインテリゲンチヤの女性たちの努力は實に目ざましい。例へば工場などでは四時になれば誰も仕事を止めて歸りますが、此處ばかりは必要を感じれば自分から残つて仕事をや

り終へるといふやうな有様です。このヴォックスを通して日本の大學にも新しい報告や著述が澤山送られて居るのですが、それに對して、こちらからは僅か五冊しか送つてないのは恥しいことだと思ひます。日本では教養ある人々の間にも一體に何處にも使命の感がうすく、働く人々も従つて積極的に自分から働きかけるといふことが少ないのではないかと私はいつても思ひます。このロシアのインテリゲンチヤの女の人々の積極的な活動も新しい時代を創らねばならぬといふ久しい間からの傳統的な熱情が、その働き場所を見出しつゝあるからなのでせう。

その女の人々をどんなに想像したらよいのでせう。

(秋田)この人たちが大變語學がよく出来るのに驚きました。その中でもユダヤの女の人が頭がよく、その上よく働きます。ユダヤ人は長い間迫害されてゐたから、その反動で勢を出してゐるとも見られませう。實際才能のあることには驚きます。ダーニチといふ二十四五歳の女の人が、一人で一つのテーブルに座を占めて外國のお客を接待してゐるのを見ましたが、頭と語學とを自由にはたらかせて、ドイツ人が来ればドイツ語、フランス人が来ればフラン

ス語、イギリス人が来れば英語、イタリア人が来ればイタリア語、そのどれが自由かわからないくらゐるに、そしてときばきと用談をし、快活にとりさばいて行くのは見てゐるだけでも氣持のよいほどでした。つまり今の新しい社會でこれらの人がその知識と才能とを力いつばい働かせてゐるのです。

その事務所インテリゲンチヤの女の人が多く働いてゐるのはカアメネバが世話をしてゐるからですか。それとも女の人が特別そのやうな文化的な仕事に適してゐるからでせうか。

(秋田)この場合には、その双方の理由もあるのでせう。そのほかの場合を見ても、ナタリヤ・サツツといふ女性があります。モスコウの舞臺監督をして有名な人、芝居をする人でこの人につかない人はないと云はれる程の今は白髮の老人であるスタニスラウスキーの祕書役をつとめてゐる人も、矢張り女の人でした。芝居に關係してゐる人にも女の人が大變多いやうです。適するといふこともありませうか、又一方には男より女の數の方が多いいふこともあります。男は戰爭で澤山死んでゐます。全體の人口一億四千六百九十八萬九千人、男七千

二萬七千人 女七千五百九十六萬二千人の割合です。それからこのナタリヤ・サツツは、スタニスラウスキー氏の奥さんの妹です。ロシアに有名な児童劇場が二つありますが、モスコーにあるその一つの監督をしてゐる人です。この劇場では普通の児童劇と人形芝居を上演してゐます。

子供と芝居については日本では児童映畫日といふものをつくつて見たりしたばかりですが、ロシアではどんな苦心が拂はれてゐますか。

(秋田)このナタリヤ・サツツの劇場では特別な苦心をしてゐました。子供が芝居からどんな影響を受けるかを調べるために、その子供の見物客の間にあちこち劇場側から人を坐らせ、芝居の動作につれて子供がする短い表情や動作——面白がつたり、驚いたり、溜息をついたり、話らないやと云つたり——を見て表に書きこみ、それを芝居を選び演ずる場合の参考としてゐます。これは或る心理學者の理論によつてしてゐるものでした。いつたいこの人形芝居(ペトルーシカ)は、御存じでせうが、人形の胸へ手を入れ、人指指に頭を、親指と小指に兩手を箝めて踊らせるものです。昨年二月頃、日本にも入つて来てギニョールといつてゐる、

あれのことです。これはもと／＼ドイツにあつたもので、十七世紀頃ロシアとドイツの商業關係が密接だつた頃、ドイツの商人が盛んにロシアへ行つた、その商人に道化役者たちも混つて行つて、市場などで人形をつかつて見せたのが始めて、ロシアでも盛んに演じられるやうになつたのでせうが、今のロシアのは全くリアリステイック(現實的)な演出によつて居ます。お爺さんお婆さん兵隊などの人形から豚や馬のやうな動物まで出てゐて、芝居の筋は極く簡單ですけど、演り方は非常にリアリステイックです。筋は例へば「なまけ者の子供」といふのをやりましたが、朝、顔を洗ふのを嫌がつて蒲團の中へもぐり込む、學校へ行くのも嫌なので動物園へ行く、そこに大きな象がゐる子供を鼻で捲き上げてしまふ……といふやうな非常に無邪氣なものです。その舞臺は間口五尺位、高さ三尺位で、電気装置も完全に出てゐて、エフエクトは何しろ見本のやうに雛型ですから纏まつた感じを與へますね。背景も大變よいと思ひました。こんなのもありました、ロシアの子供が荷物の中に包まれて船にのつて支那へ行つてしまひます。そこでは丁度専制政治の時代です。支那の王様が料理を食べるのですが、どうしてもまづくて食べられない。それで怒つて料理番を殺さうとする、そ

こへ行き合せたロシアの子供は王様を誘つて散歩する、散歩のあとのお料理はまづいものでもおいしく食べることが出来たといふ簡単なものです。オーケストラもあります。シヤルマシカ(樂器の名)もやります。

さういふ劇の効果をどう扱つて居ますか。

(秋田)時には新しいイデオロギーを入れた宣傳的教育的なものを行います。どうして革命が起つたかといふことを説明し、新しい觀念を理解せよといふのがあるかと思ふと、また無邪氣な何の意味もないお腹をかへて笑ふやうなものをする。この二つのものを混ぜてやるといふ仕方のやうです。今、ソウエートでモリエルを必要とすると或人が云つてゐました。それからナタリヤ・サツツはその他の企ても試みてゐます。芝居を見に来た子供を前に舞臺の上から話しかけ、質問します。するとそれに子供が無邪氣に立つてよく答へる。ナタリヤ・サツツの話し方は實に緊張して機敏で上手です。子供も従つてどしどし反應します。ナタリヤ・サツツの指導のもとに子供たちが楽しみつつ自分たちの素質をのばして行く、さう感じられて、愉快であり羨しく思ひました。本當に美しい場面でした。私たちがこの劇場

を訪ねた時、ナタリヤ・サツツは子供たちに私どもを紹介して「いまここに外國のお客様が来ておいでです。どこの方かわかりますか。」みんなの中から立つて答へます。「日本の方です。」ナタリヤ・サツツは應じます。「さうです。日本の方たちは私どものことを大變知りたがつておいでです。そして日本の小さい方たちは皆さんに會ひたがつてゐます。」といふ。子供たちは一齊に「あゝうれしい」と叫びました。

何歳位の子供が何人位集められるのですか。そして何時するのですか。何時間位續けてやりますか。

(秋田)十歳乃至十五歳五六百人でせう。そして上演時間は、大抵三時間位が制限です。經營の仕組はどうなつてゐるのですか。

(秋田)經營は政府です。従つて日本の児童映畫のやうに本當の目的が營利のために制肘されることは少しもない。子供のために一番よい時間に最も少い費用で便宜に見られ楽しまれ教へられる、そしてその指導を専門家が十分に腕をふるつて出来る。

新しい國であるだけに、制度が單純で氣持がよいでせう。

(秋田)さうです。すべてに素朴と單純が見られます。一日中の町を見てゐても大變に面白いのです。九時には工場や事務所に行く人、四時頃にはみんな歸るので大變こみ合ひます。六時頃には公共食堂へ行く人(公共食堂の食事は大變安く、そして相當氣持よいので、みんなそこで食事をします)。七時頃には劇場へ行く人で混み合ひます。町を歩いてゐる人が今何のために歩いてゐるかよくわかる。社會のすべてが透明で曖昧なところがなく、氣持が明るく、また大變面白く見えました。

劇場に行くことが仕事に行つたり食事をしたりすること、同じ意味をもち得るのも面白いことですね。

(秋田)それが現在のロシアの組織です。

古典的なもの上演は?

(秋田)新しい解釋で演出します。古典的なものは小劇場で多くしますが、古い世界と時代に住んで居た人はその古い世界や時代を本當に解剖することが出来なかつたのは當然だから、それを今は自由に解剖します。それである場合には出て来る人物など全然違つた、まるで想

像で創り上げた考へ方や心理で動く奇抜なのがあるのです。併し普通の見物も、この人間のサイコロジイ(心理)を縛られた仕方から解放して、自由にすつと働かしたところに興味を感じます。ゴオゴリの原作に書いてないことも、この人物はかういふ性格だから、實はかういふ考へを有つてかういふこともしたらうと思ふと、それを現はすのです。メイエリホリドの「檢察官」で、ボブジンスキーといふ滑稽な人物が、フリスタコフと市長と話をしてゐるのを戸の外から覗いてゐると、急に戸を内から開けたのではすみで倒れた、と同時に轉がつた、そこに梯子段があるので、それを下まで轉がり落ちてしまふ、さうすると轉がつて行つて下に薪を出すために丁度地下室の戸を開けてある穴にまで入つて行つてしまふ。これは原作に一つも書いてないことなのです。又、市長の奥さんが檢察官に化けて居る不良青年と戀愛に陥る劇があると、氣狂ひのやうな軍人が幕毎に出て来て、二人の會話の間も一言も云はず、ただピアノばかり弾いてゐる。これも原作にないのですが、かういふ戀愛問題は必ず三角關係をもつてゐるだらうといふ考へからこの人物を出したのでせう。

文化事業または兒童劇、その他に現代ロシアの女の人人々の働いて居るところを御紹介下

さい。

(秋田)少年團の教育にも女の人が大變働いてゐます。少年團といふのは二種類の少年から成つてゐるのですが、一つは十月の子供といつて、大戦、内亂及び革命時代に父母を失つた孤兒を養つて教育してゐるのです。(それは革命が丁度十月にあつたので、さういふ名がついたのでせう。)そして國家はこの不幸な子供たちについて全責任を負ふ一方、その子たちに現代の持つてゐる最も新しい研究による教育法を試験的にやつて見てゐます。悪く云へばモルモットのやうなものです。この教育法は立派で、そして結果は非常によいのです。他の一つは、一般の家庭の子供たちであつて、これをこの十月の子供たちを教育したものの中に混ぜ入れてやります。この少年團を教育してゐる人は女でイデオロギストで、最も新しい社會を作つて行くはつきりした觀念を有つてゐる人たちです。私の知つてゐる人は齒科醫の資格ある女性でしたが、これもユダヤ人でエスペラントを教へてゐる立派な熱心な人でした。

その少年團は何人位一團でせうか。

(秋田)全體で百二十人位で、九十人位は十月の子供たち即ち孤兒で、これはそこに泊つて居

ますが、普通の家庭から五十人位通つてゐました。また、この少年團の教育は最初に宇宙教育といふのを施してゐます。それは地球と人間との關係、生物と人間との關係、人間相互、社會相互の關係を教へるので、ウェールズの云つた、國家教育を施す前に宇宙教育を施せといふのを實行してゐるわけです。この宇宙教育を教へる間に、コンムニズムをはつきり教へます。この少年團はミリタリストイック(軍隊式)のやうに非難され、逆宣傳されましたが、私の見たところでは日本の教育より遙かに文化的でした。いつたい、かの赤衛軍といふ軍隊でさへ最初は外からの侵入を防ぐために農民が自衛の目的で起した自衛團ですが、従つて現在でも他の國の軍隊と比して、文化的要素が遙かに多いやうです。私はその軍隊の中の人々に會つて話をしましたが、その人々は、「假りに敵軍が來たとしても、私どもは武力で勝たうとは思はない。また勝つとも思はない。しかし文化で、そして精神で私たちは必ず勝つことが出来る」と自ら信じて居る。」と云つて居ました。これは少年團で働いて居る人々の精神でもあるのです。

軍隊組織が武力よりも寧ろ進歩的な意味で、精神的にも國家社會をまもるものとしての

自覺の上に立つといふことは學ぶべきことですね。少年團などにも、さうした内面的な力、理性的な精神的な教養に缺けては、その効果も本當にはあがらない。反つて少年を不具に取扱つてしまふことになるでせう。いつでも人間を全的に人間的に解釋することを忘れてはならないわけです。少年團に婦人の関係が深いといふことは面白い解釋だと思ひます。これは教育の問題になりますが。

(秋田)婦人がすべての社會活動に重要な要素として働く、といふことは現代ロシアの特色です。ある婦人の會合に、少年團の子供たちが、ずらりと整列して會場に入るのを待つて居るのを見たこともありましたが、婦人と子供との関係が非常に密接になつて居るといふことは一つの特色でせう。

中世の騎士道の婦人の尊敬を聯想させますね。それとこれとは全く別のものでせうが、しかし女性の無視は社會を不具にすることを、どんな時代でも恐れねばならぬ筈です。工場内の労働者たちについても人間的な考へ方が見られるでせうね。

(秋田)工場の労働者のためにも絶えず教養の進歩をはかる、この例として一つ特別に面白い

學校組織が出来て居ます。あの有名な藝術家で文部大臣のルナチャルスキーの監督をして居る国立工藝匠學校といふのですが、これは學期が三箇月、労働者たちは適宜のとき工場から出て来て、この三箇月を學ぶとまた工場へ歸ります。そして働きつつ勉強して、その間に自分で解らないことが出来ると、これを控へて置いて、また暫く後にその學校に出て来て、今度はその解らないところを中心に尋ねて教へられるといふのです。

それで少年團の中にも、また工場労働者の中にも新しい道德が生れて来て居ることです。

(秋田)所有物に對して自分の物だから壊さぬでなく、みんなの用に立つ物だから大切にしたいふ心持などは著しい一例です。

もつと幼い子供たちのための繪本などはどのやうですか。

(秋田)現代のロシアの子供繪本で特別に氣づかれることは、宇宙について、社會についての理解、また机はどうして造られるかといふやうな日常生活の生きた現實的また創造的な智慧、それからソウエート・ロシアのイデオロギーを子供に理解させること、これらに力を

つくして居る點でせう。これらの場合に知られることは世界または人間社會にとつて生物學的な方法を重視することです。

蟻の生活の研究、フアブルの昆蟲記などを想ひ起します。それで繪本雜誌などにも日本のやうに營利のため本來の目的を閑却することは起らないのですか。

(秋田)私的營利は見られない。一つは個人の収入は月給取では最高例へば大臣は二百二十五圓、労働者の最低賃金が七十三圓に定められ、その他でも經濟組織の統制によつてある一定の額以上はどうしても利得されないやうに出來て居る。またその慾望も出なくなるべきとされる。そして大規模の仕事は國家がやるといふよりロシアでは、人民と國家とは本當に一つで、ある仕事の必要を認め、それを遂行する希望と知識と才能とある人々が立つて國家の名に於いて公共の幸福のために、その仕事をする。政治には何時でも各種の専門家の知識が採用されて行く。従つて學者専門家の研究思索の結果によつて、よい仕事が指導され助成されることも多い。

日本などはその點は實にまだみじめですね。藝術とか思想とかに何の素養もない俗人が

その方を取締る仕事をする。

(秋田)宇宙、人間、社會に對する正當な理解がないことから來るのでせう。ロシアでは子供の時の教育からこれに注意します。少年團などでも花を鉢に植ゑさせ、いくつかの組に分れて各々の組がどうして美しい花を咲かせることが出来るか研究しつゝ實行して行く、そして最後に皆お互に比較しあつて、その違つた點や特色を研究するといふやうなことをよくやつて居ました。

女性の職業教育に何か御覽でしたか。

(秋田)地方を見たとき、カウカサスで産婆學校を見ました。この地方は御承知のように人種が錯雜して居ます。その學校にも種々の血の人が學んで居ました。東方の人は古のまゝの習慣でベエルを覆つた中に暗色の顔を輝かせて皆の中で勉強して居ました。偶然私は面白いものを見ました。ロシアには昔から移動法廷のあることはトルストイにも見えますが、之を教育に用ひる。つまり學校で或る問題の研究に及ぶとその問題に關した事件がないかと裁判所に尋ねてやる。裁判所はそれをもつて行つて學校でその裁判を實際にやる。學生は傍聽者と

してその間にいろいろのことを學ぶ。その時は、ある事情にある婦人が戀愛をして妊娠し、産婆に早く依頼して合法的に妊娠を中絶させようとした。處がその爲めにその婦人が急死した。この産婆は求罪された、といふ事件についてでした。

ロシアの田舎を御覽になつて御感想は如何でしたか。革命前ロシアの田舎はまた特に文化が低く、正しいロシア語さへ知らない程だつたときいて居ますが。

(秋田)さうです。この點でも女性の活動が著しい。國際無産婦人會といふものがあつて、この會の現在の仕事は都會と田舎との關係を正す、また田舎の無學を撲滅する、種々の點で農村労働者と均等にひきあける。これらを農村の社會主義化とよんで居ます。會長はレニン夫人クレツプスカヤ、委員も全部女で、ロシアの相談會の委員辯者その他の席は會場の正面にあります。皆立派な態度を示して居ました。私の出席した國際無産婦人會では都會婦人と農村婦人と各代表者が出て農村社會主義化の問題を議しましたが、一人の農村の代表者の女性の演説は非常に人々を感じさせました。自分たちの村では年寄つた女と若い女の間には差があらはれ、年寄たちは農村は昔の方が樂だつたと云ひ、若い女たちはいまの農村は或る

意味で却つて昔よりも苦しいが、これは近い將來の輝かしい希望を約束する勞苦だと考へて居る。しかしわが相談會に加入するものは次第に増す。次に一般に農村の教育の好況は何人も否定できぬ。昔は農村の女は學問から全く除外されて居た。ソウエト以來、私達ははじめて自由に學び知識に浴することが出来て、實に嬉しいことと考へる。無學撲滅運動はソウエト・ロシアの女性の一つになつて努力すべきことだと思ひます。この途中でつかへて困つて却つて非常に素朴で田園女性の代表者らしい態度を見せました。少年團が整列して居たといふのはこの無産婦人會のときの光景でした。

古いものに對してはつねに破壊的なのでせうか。

(秋田)いやちがひます。革命のとき王宮に手ひとつ觸れず、皇帝の机の上にはマツチもそのまゝの程ですが、藝術も古いものはその歴史の意味と地位をはつきり説明して保存して居ます。家族制度も新しい人は全く昔の形式を用ひませんが、年寄つた人またその他でも古い習慣に従ふのも自由です。自由戀愛が新しい道徳として生れても、結婚生活の形式を存して居る人も多い。これらのことは民謡の變遷を見ても暗示されます。古く盛んであつたロシア民

謠は帝王末期には次第に力を失つた、そして革命のときには一度全く姿を消した、それがまた現在では非常に盛んになつた。専門家藝術家の指導が重んぜられ、自覺的發達として昔とはまた全く異つた盛んな状態です。新しい社會が確立すれば歴史的價值も却つて本當に新生させられる、それを現代ロシアは教へます。

女の人人々の生活が自由になり、社會的に働けるやうになつた一方で、どんな意味でも辯護されぬやうな不快な亂脈はないでせうか。

(秋田)プロステイチュート(淫賣婦)が多いと私もきいて居ましたが、私の歩いた感じは非常に少いのではないかと思ひました。一般にも革命直後は男女關係が混亂し、悪疾、親なし兒その他の弊害があつた。しかしソウエートは法律、アーリメントと云つて居ますが、子供の生れた女と別れるとき男は収入の三分の一を贈り拂ふ規定です——を發布したり、パンフレットを勞働者の間に配布して、周到な性教育をなし、また自己の行爲に責任をもつてとの意味を教へることに力を盡した。法律はその發布の時に社會にあふだけで、その後には効果を失ひ弊も生じますが、教育の方即ち「責任」が社會の基礎であることは次第に理解され、現在

では整理の結果もよいと見られました。アーリメントも損害賠償や慰藉といふよりも責任と解せらるべきものです。

物價はどうですか。

(秋田)國家の施設で日用品、パン、野菜、肉などは非常に安く、特別なものを望めば非常に高い。肉食のはけしいモスコーなどから菜食論の出たのも面白いことですが、野菜食堂の立派なのがありました。

コロンタイの小説に公共住宅の問題に女の人達の努力と苦心とが見えますが。

(秋田)コロンタイの書いたのは革命直後のことです。あの時代はさういふことに非常に苦しんだのですが、今は住宅も政府でよくしてゐます。アパートメントも澤山出来ました。煉瓦づくりの簡単なもので、地震がないからいゝですねといつたら、「いや社會的地震がなければいゝです」と笑つてゐました。安い料金をで住む、そして四十八年でしたか経てばその料金を建築費が全部償却される。古いいひ方でいへば、その家が全く自分のものになるといふのですが、正しくロシア的にいへばそれでそれを建てるために國家が支出した費用が償却され、

その後は誰でも自由に住宅を得られる公共住宅組織が完全するわけです。外觀はともかく部屋の装飾はいいです。郵便局従業員位でも八疊位と四疊位の部屋と共同の臺所を持ち、大臣でも四間位、クラブが他にありますから、この公共住宅の殺風景はそれで補へます。昔の立派な宮殿や邸宅が皆クラブなのです。昔、貴族は人民の全く知らない地下室に、贅澤な舞臺を設けて日夜音楽やダンスをしてゐたが、これが革命の時発見されていま労働者の娯樂や保健静養のためのクラブとなつて居るのです。

レニンに崇敬する仕事はほとんど偶像崇拜といはれますか。

(秋田)さうです。死蠟化したレニンを納めた墓に参る人は實に多い。しかし外國人などがこれを偶像崇拜視して見物に入つて、嚴肅の感に打たれて出て來ます。レニンの死んだ時は、いはばロシアの國難の危機だつた。また新しいロシアの解放のための第一線で非常な苦心とはたらきをし、いはば巨石を取除けてくれたことに對して、今これを地下に葬るにしのびぬ心持。少くともこの心持は理解されるでせう。今は過渡の苦しい時代です。戦争を否定するけれども、資本主義國からの侵入の恐れのある間は、新しい社會と國を護る軍隊が必要

である。しかしこれも永遠の平和に至る長い旅と感ぜられて居ます。

いろいろの御話を伺つて、私どもが兎も角も新しい希望と努力とのために苦しんで居る友邦に對すべき態度もだんだんはつきりするやうな氣がします。

(秋田)ロシアは經濟的には西歐よりも東への方面を重視し、日本との關係をその意味からもよくしたいと望んで居るのです。又、日本の藝術を、殊に歌舞伎のスタイルを學びたがつて居ます。左圍次を招待するのもそのためでせう。日本としては、あくまで謙遜な心持で、役立つてやることの出来ることは役立つてやり、提携すべきところは提携し、學ぶべきところは學ぶべきでせうか。

(今日のお話を本當に感謝いたします。ロシアは本來東方的性格を多分にもつた大いなる國です。私どもは、この東方的友情を意味あるものにせねばなりません。……さあ、それでは今日の記念に寫真をとらせて頂きませうか。)

—了—

著者の小傳

- 一、著者雨雀秋田先生は、明治十六年一月二日——青森縣南津輕郡黒石前町二〇に生る。
- 一、出生以前嚴父失明、極端なる貧窮の中に生育さる。刻苦精勵名狀しがたし。
- 一、明治三十一年——黒石高等小學校卒業。——一、同 三十六年——青森縣第一中學校卒業。——一、同 三十七年——四十年、第一期の自由思想に影響さる。——一、大正二年——早稻田大學英文科卒業。青年の頃より同僚や後輩をよく面倒見る雅量と温情とを有し、何くれと物事に感心癖ありと云はる。
- 一、大正三年——演劇運動に参加、藝術座に入る。この時代印度哲學、特にウバニシヤトの思想に影響さる。——一、大正八年——社會運動及び労働運動に共鳴を感ぜるものの如し。——一、昭和二、三年——ソウエート聯邦共和國の客として藝術、教育及び労働農民の生活を視察。歸朝後、藝術座の重鎮として特に大衆に期待さる。白髪なれど齢も心もわか／＼しい。夫人との間に才色兼備の令嬢一人あるのみ。
- 一、著書の主なるものは「幻影と夜曲」(以上戯曲小説集)——「埋れた春」「佛陀と幼兒の死」「國境の夜」「骸骨の舞跳」(以上戯曲集)——「東の子供へ」「太陽と花園」(童話集)——その他「模範エスベラント獨習」等噴々嗟稱されて居る。

入會規定

▼體裁——四六版布製一冊紙數約七十頁、九ボイント組ルビ附。

▼刊行期日——毎月三冊配本。

▼申込方法——申込と同時に會費(何ヶ月分でも)御拂込になつた方を會員として名簿に登録します。

▼會費——一ヶ月分(三冊)金五十錢。三ヶ月分(九冊)金壹圓五拾錢。六ヶ月分(十八冊)金貳圓八拾錢。一ヶ年分(卅六冊)金五圓五拾錢。可成三ヶ月以上御拂込願ひます。

▼送本料——會費の外に送本料(一ヶ月三冊分金六錢)申受けます。

▼拂込方法——振替貯金東京六八二八六番に御拂込を便宜とします。

本叢書 1、毎冊の題目は現代人の知らねばならぬものばかり。2、執筆者は現代一流の専門家を網羅す。3、記述は平明而かも最も精確なる知識が得られる専門的知見の泉!高等常識の糧!4、手頃の携帶本。而かも毎冊れ之を書齋に備ふれば、一家庭圖書館が建設せられる。5、定價至廉無比。毎月たつた五拾錢で三冊の本が得られる。

昭和四年七月三日印刷
昭和四年七月六日發行

現代生活叢書 (七月配本)

第七輯 最近のソウエート・ロシア

著者 秋田 雨雀
發行者 會根 松太郎
東京市神田區一ツ橋通町廿一番地

同上 梅津 和子
東京市小石川區久堅町百八番地

印刷者 君島 潔
東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所 共同印刷株式會社
東京市神田區一ツ橋

發行所

帝國教育會出版部

電話九段(33) 三四五番
三六三七番
三六三八番
振替東京 六八二八六番

『現代生活叢書』 第一期刊行書目

第一年度分

勅語と詔書 文學博士 林博太郎先生
 婦人の問題 伯大講師 原田實先生
 新時代の雄辯 早大講師 清瀬一郎先生
 讀書と書法 日比谷圖書館長 慈海先生
 宗教と人生 文學博士 高島米峰先生
 哲學の早分り 文學博士 紀平正美先生
 神學の早分り 文學博士 山本信哉先生
 政黨の早分り 文學博士 馬場恒吾先生
 政治と審判 法學博士 山内確三郎先生
 陪罪と指紋の法話 警視廳長 吉川澄一先生
 犯罪と指紋の法話 鑑識課長 那須皓先生
 農口食糧問題 帝農顧問 山崎延吉先生
 農村の計 代農顧問 太田正孝先生
 貸借の常 經濟學博士 阿部賢一先生
 租税の常 代議士 鶴見祐輔先生
 アメリカの常 代議士 米田祐實先生
 滿洲のソート 文學博士 秋田辰之先生
 最近のソートの話 文學博士 高野辰之先生

現代映畫の聴方 文部省嘱託 橘高廣先生
 西洋音楽の聴方 文學士 田邊尚雄先生
 山の神 農學博士 榎有恒先生
 醬油の味 農學博士 黒野勘六先生
 鶏乳の卵 農學博士 衣川義雄先生
 牛乳の料理 陸軍少將 澤村眞先生
 馬鈴薯と料理 農學博士 石川潔太先生
 藥草の料理 日本藥劑師 村井政善先生
 人絹(レヨンの)の料理 農學博士 河森一喜先生
 産業組合の熱話 農學博士 西田博太郎先生
 照明と電熱 工學博士 有働良夫先生
 電送寫真と熱話 東京日々 青柳榮司先生
 スカイサインの熱話 東京日々 岸井壽郎先生
 結婚の運動 優生運動 市川源三先生
 優生の健康法 優生運動 池田林儀先生
 いろ／＼の健康法 醫學博士 正木不丘先生
 スポーツの健康法 醫學博士 吉田章信先生
 完全栄養と美容法 醫學博士 二本謙三先生
 手軽に出来る美容法 醫學博士 山本久榮先生

325

34

終

